

平成28年度第1回岡山大学 Alumni（全学同窓会）理事会議事要旨

日 時 平成28年6月23日（木）13:30～16:03

場 所 岡山大学本部棟6階 第一会議室

■ 開会

冒頭、小長会長から開会の挨拶があり、円滑な審議が行えるよう協力願いたい旨の発言があった。

■ 出席者の確認

小長会長から、出席者の確認があった。

欠席者：小谷副会長、門野理事（代理出席：山根文男氏）、竹崎理事（代理出席：尾崎重美氏）、有岡理事、貞本理事、浅利理事、富田理事（代理出席：鶴田健二氏）、許理事、板東監事（代理出席：笹川廣太郎氏）、森田顧問

■ 議 題

1 審議事項

（1）役員の変更について

小長会長から、資料1に基づき、平成28年3月31日付けで任期満了となった前理事の松本経済学部長、窪木歯学部長の後任として、岡山大学長より、高塚教育学部長、大塚医学部長が推薦されている旨説明があり、審議の結果、承認された。

次いで、高塚教育学部長、大塚医学部長から挨拶があった。

（2）平成27年度事業報告について

小長会長の指名により、事務局から次のとおり説明があった。

冒頭、荒木事務局長から概要説明があった後、事務局から資料2に基づき、平成27年度に実施の各種事業等について説明があり、審議の結果、承認された。

なお、事業報告の中で、川本（一）理事（Alumni 広島支部代表幹事）から、3月17日（木）に開催された Alumni 広島支部「第一回学部横断懇話会」の状況について報告があった。

*Alumni 広島支部「第一回学部横断懇話会」について

川本（一）理事：昨年9月に広島支部を発足いたしました。これは、会長、副会長をはじめ皆様のご支援によるものと感謝しております。資料にありますとおり、3月に学部横断懇話会を開催しました。いろいろな意見があったのですが、とにかく集まって

懇談しようということになり、全部で40人あまりの人が集いました。支部の発足を契機として、工学部広島支部の方々、医学部系の方々などが集まりました。学部横断懇話会は、異業種交流の意義をかもしだして、岡山大学はいろんな分野の方を輩出しているのだと感じました。Alumniの組織基盤が再認識でき、ひとつの大きな力となったようで、集まってよかったと感じています。広島県は広く県北部や福山、尾道等東部の方にも多くの方がおりますので、今後連携を図っていく必要があると思っております。また、山口県との連携も今後の課題となってくるので、調整が必要と思っております。

(3) 平成27年度会計報告及び監査報告について

小長会長の指名により、事務局から資料4に基づき、平成27年度の収支決算状況についての詳細な説明と、監事による監査報告書の説明があり、審議の結果、承認された。

(4) 平成28年度事業計画について

小長会長の指名により、事務局から次のとおり説明があった。

冒頭、荒木事務局長から、支部活動活性化支援事業の申請金額を上限20万円から30万円に変更し、活性化の増進を図りたいこと、Alumniが事業の柱としている学生支援のグローバル人材育成支援事業の申請区分をより明確化し、多くの学生が申請できるよう改善したこと、就職活動支援事業を活性化させること、新たな事業として各学部等活動支援事業【ホームカミングデイ活動支援】を企画したこと等、概要説明があった。次いで、事務局から資料5に基づき、平成28年度事業計画(案)の説明(資料7から資料10までは各種事業内容)、資料6に基づき平成28年度収支予算(案)の説明があり、審議の結果、承認された。

なお、事務局からの資料説明の中で、支部設立について意見を伺いたい旨の発言があった。

○支部設立に関しての意見

*主な意見等

荒木事務局長：岡山大学 Alumni の支部は東京、愛媛県、広島と設立された。前回の理事会でも話が出ている名古屋、大阪、高松などに支部の設立を進めていく必要があると考えている。名古屋支部設立に関しての検討は、各学部の同窓会に依頼して、名古屋地区の学部別代表者に集まっていただき、設立準備会を開催した。その中で、①法文経同窓会名古屋支部を Alumni 組織に編成する ②法文経同窓会名古屋支部はそのままとし、それとは別に Alumni 名古屋支部を設立する の意見があった。各人の意見は尊重したいと想っているし、今度、東海地区の岡山県人会へ出席するので、代表者の方に話を伺ってくることにしている。

小長会長：東京支部の状況はどうか。

竹原理事：東京支部も法文経同窓会等の各学部同窓会と、Alumni 合同で各種事業を一

緒に実施しており、非常に良好な関係で上手く機能している。支部の形としては、全学同窓会と各学部同窓会は並列の方が良いと思われる。

陶浪副会長：法文経名古屋支部と話をしているが、デンソーとかアイシン精機等は実態として企業内で同窓会を実施しており、学部の同窓会を名古屋で実施するといっても企業の方は参加しない状況と聞いている。法文経同窓会名古屋支部は、10年以上前から、理学部、農学部の同窓生が入っている。理学部の代表者は、活動的であると聞いている。名古屋では、広島の話が出た学部同窓会（支部）横断の話し合いが特に必要であり、Alumni は側面的に協力する形で話をしていけば、時間はかかるかもしれないが、既に設立された3つの支部のように設立できると思っている。

荒木事務局長：理事会で出た意見を参考に、東海地区岡山県人会の方と話をしていく。また、デンソー等企業の方とも話をしたいと思っている。

竹原理事：東京から大阪へ転勤される方は、大阪のどこへ連絡すればよいのかと聞かれる。30代40代の転勤族の同窓生は、名古屋、大阪、福岡などの大都市に岡山大学 Alumni があれば非常に有り難いと思われるだろう。スピードを上げて各地区の支部設立を進めていただきたい。

小長会長：これは学部同窓会も Alumni も同時に設立していこうということか。

竹原理事：岡山以外だと法文経学部、工学部および医学部関係が強い状況となっている。東京支部でも Alumni の関係で、理学部、農学部および環境理工学部の支部を作ろうかとの話も出ている。

小長会長：荒木事務局長には、いろいろよろしく願いたい。

(5) 岡山大学 Alumni (全学同窓会) ロゴマークについて

小長会長の指名により、事務局から次のとおり説明があった。

冒頭、荒木事務局長から概要説明があった後、事務局から資料11に基づき、ロゴマーク選定に係るスケジュール（案）および資料12に基づき、ロゴマーク選定委員会委員（案）の説明があり、審議の結果、承認された。

(6) 岡山大学学都基金について

小長会長の指名により荒木事務局長から、資料13に基づき、岡山大学学都基金の創設の背景・必要性、募金目標額および用途等について詳細な説明があった後、種々意見交換があり、同窓生への依頼等を含め、継続して検討することとなった。

2 報告事項

(1) 会費納入状況について

冒頭、小長会長から、今年度も Alumni と学部等同窓会とで一括して学部新生生の会費を徴収したことについて、各学部等同窓会関係者の協力に対し謝辞があった後、荒木

事務局長から、会費納入に関しての取組状況について説明があった。続いて事務局から資料14に基づき、昨年度と比較し若干納入率が下がっている等詳細な説明と、会費未納者については今後も引き続き依頼していく旨の説明があった。

3 その他

(1) 次回理事会、スーパーグローバルホームカミングデイ、総会の開催について

小長会長から、次回理事会(10/21)、スーパーグローバルホームカミングデイ(10/22)、総会(10/22)の開催予定日等の連絡があった。

次いで事務局から、本年度スーパーグローバルホームカミングデイとした経緯等について説明があった。

(2) 国際同窓会の活動状況について

小長会長の指名により、張理事から配布資料に基づき、国際同窓会の平成27年度の活動状況と、平成28年度の活動計画について報告があった。

(3) その他

千原理事から、ロゴマーク作成の機会に、岡山大学は旧制六高の流れを組むという歴史を踏まえ、旧制六高の同窓会関係者の方に、校風などをベースとした文言の作成を依頼したらどうかとの提案があり、小長会長から現状の旧制六高と岡山大学との関連等について説明があり、可能であれば反映できたら良い旨の発言があった。

以 上